

## 青山 幸生 議員（代表質問）

### 1 6月定例会補正予算について

- (1) SDGs推進事業費について
  - ア SDGs普及啓発についての具体的な実施方法は何か。
  - イ ARによるホタルイカ定置網漁体験設備導入における目的は何か。
  - ウ GXアドバイザーの育成について何人を予定して、かつどのような事業をしていくのか。
  - エ カーボンニュートラルな社会の実施に向けて、滑川市として今後どのような取組をしていくのか。
  
- (2) 高温対策栽培転換等支援事業費及び「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業費について
  - ア 種籾の購入に際して補助をした場合に、いくら種籾をいくら補助し、平均的な農家はいくら程度助かるのか。
  - イ 「富富富」乾燥調製施設整備に対する補助において、整備する乾燥機はどのぐらいの量を使用できるのか。また、今後の「富富富」の普及についてはどのように考えているのか。
  
- (3) 観光行政推進事業費について
  - ア 旧タラソピア解体に係る設計業務において、どのような積算根拠なのか。
  - イ 設備関係を移動するだけならこのような高額になるとは考えられないが、次の施設運営を含めての予算になるのか。

### 2 重点事業要望について

- (1) 公民連携によるまちづくりや公共施設の利活用に対する支援について、都市経営にかかるプロジェクトの支援及びPPP/PFI手法の導入に向けた助言や規制緩和等について要望している。具体的内容と目的は何か。
  
- (2) 火葬場の設備更新に係る補助制度の創設については、具体的にどのような設備更新が必要で、更新が必要な時期の算定はしているのか。

- (3) 持続可能なまちづくりの推進については、立地適正化計画の整備等についての要望であるが、これは財政面のみの要望か。具体的な内容はどうか。

### 3 子育てしやすいまちづくりについて

- (1) 出生数が減少する中、より産み育てやすい滑川市であることが重要である。こども家庭センター・市民健康センター・子育て支援センターのサポート体制は万全か。どのようなことをしているのかサポート体制の詳細を伺う。
- (2) 母子手帳を渡す場所と渡すタイミングはどのようになっているか。また、各種子育てメニューの案内はどのようにしているか。
- (3) 自転車走行時のヘルメット着用が義務化になった。小・中学校のヘルメットについては、現在どのように啓発しているか。
- (4) 令和5年3月定例会にて、70周年事業に向けてキラリンの絵本の答弁をいただいた。70周年事業が全て滞りなく終了したと思うが、何か行ったのか。

## 原 明 議員（代表質問）

### 1 「SDGs 未来都市」について

- ・ 「SDGs 未来都市」に選定されたことにより2030年度までの目標達成に向けた各種事業の取組スケジュールと市民への周知を問う。

### 2 災害に対する備えについて

- (1) 能登半島地震により、初動対応や避難所の開設、運営などの課題について、職員アンケートや市民アンケートを実施され、課題と対策を引き続き検討しているとのことだが、アンケート結果はいつ頃、報告されるのか。
- (2) 正しい避難行動をとるための防災パンフレットの作成や災害への対策が急がれるがいつ頃となるか。

### 3 行田公園の管理、整備について

- (1) 旧児童館跡地、公園内の園路・水路・トイレ、また、芝生広場の管理や公園内の補修、改修工事を計画的に進める必要があると思う。見解を伺う。
- (2) ハナショウブの生育環境改善により生育が回復し、多くの入園者で賑わっている。これからの管理計画を伺う。

#### 4 農業の振興について

- (1) 令和6年度の水稻作付面積、コシヒカリ、富富富、てんたかく、てんこもりの作付面積を伺う。
- (2) 今定例会に令和7年の「富富富」種籾購入補助が計上されている。「富富富」だけの補助の理由と7年度以降も継続されるのか伺う。
- (3) カメムシの大発生が報告されているが、対策は万全か伺う。
- (4) ドローンによる直播栽培の状況を伺う。

#### 5 健康診査の状況について

- (1) 40歳～74歳の受診状況について
- (2) 75歳以上の受診状況について

#### 6 移住、定住の促進について

- ・ 茨城県境町の定住促進戸建住宅事業を、滑川市でも導入を検討すべきと思うが見解を伺う。

## 谷崎 潤一 議員（一般質問）

### 1 滑川市におけるゼロカーボンシティ宣言について

- (1) 令和5年9月の定例会にて「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し令和6年5月にはSDGs未来都市に認定され、「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」の実現に向けた取組が加速していくと思われるが、ゼロカーボンシティに向けた取組や、第3次滑川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に書かれた計画などの実施状況と課題を伺う。
- (2) 温室効果ガス削減につながる街灯のLED化工事や市庁舎内の照明LED化などの取組の予算を令和6年度計上されているが、他の自治体で取り組んでいる再生可能エネルギーを使った発電などの事業は検討しているのか伺う。
- (3) 今後、再生可能エネルギーを使った発電事業を公民連携で実施したいと地元企業から申し出があれば本市はどのような対応をするのか伺う。

### 2 農業用水路の維持について

- ・ 地域に依頼していた水路の掃除や草刈りなどの業務が担い手の高齢化や人手不足などで立ち行かない状態となり、近い将来問題になると考える。農業用水路の維持管理について、市としてどのように考えているのか伺う。

### 3 市内における生活道路・通学路について

- (1) 生活道路やスクールゾーンの交通安全対策の重点地域に対して、多くの方々に認知しやすくするために標識や白線を標示して、子ども達の交通安全を図る取組を行う自治体が多く見受けられる。本市における主なスクールゾーン設置状況について伺う。
- (2) スクールゾーンとして標識・白線のほかにどのような整備方法があるのかについて伺う。

- (3) 学校周辺などの地域に子ども達の交通安全を確保するためにゾーン30やゾーン30プラスを拡充する取組を今後検討できないか伺う。

#### 4 ほたるいかミュージアム周辺の再編について

- (1) タラソピア解体後の跡地と、足湯跡地は今後どのような利活用を検討しているのか伺う。
- (2) NPO法人地域活性化支援センターが展開している「恋人の聖地プロジェクト」は本市にとって検討するに値する事業かと思う。ほたるいかミュージアム敷地内に設置することは検討できるか伺う。

## 安達 真隆 議員（一般質問）

### 1 みのお温泉について

- ・ 12月定例会で質問した際は「来春の再開を目指す」と答弁があった。しかし、まだ沸かし湯のままである。
  - ア 現在の進捗を問う。
  - イ 明確にいつから温泉として再開できるのか。
  - ウ 湯量や温度はどうなのか。
  - エ 料金はどのようにするのか。
  - オ 今後、同じように温泉が供給できなくなることを避けるため、どのような対策及び工事の施工をしたのか。

### 2 市内の公園の運営管理について

- ・ 市内にはたくさんの公園がある。誰がどのように維持管理しているのか問う。
  - ア 公園の休憩施設の掃除などは誰がいつ行うことになっているのか。
  - イ トイレ掃除は、誰がいつ行うことになっているのか。
  - ウ 今後、特に観光客を迎えていくのであれば、徹底して掃除や維持管理を見直すべきでないのか。

### 3 のる my car について

- ・ 市長提案理由説明にあった、8月から現行の6便を5便に統合することについて問う。
  - ア 「中学生の下校時間に配慮した時刻改正を行うこととした」とあるが滑川中学校、早月中学校両方に配慮されているか。
  - イ 運行便数が減ることで、運転手の労働時間（働き方改革）につながっているか。





## 吉森 真人 議員（一般質問）

### 1 鳥害の現状と対策について

- ・ これまでも中山間地における有害鳥獣（特にイノシシ、熊、鹿等）の質問は多くの議員からあったが、平野における鳥害について問う。
  - ア 近年に平野における鳥害被害はどれくらいあり、どのような内容でどんな害鳥が報告されているのか。
  - イ これまでに行った対策はどのようなものがあったのか。
  - ウ 平野におけるアオサギの繁殖が目立っている。自治会もいろいろ対策を講じているが高いところに巣を作るため、解決に繋がっていない。ほかにも鳥獣保護法の問題やほかに移って巣を作るなどもあり、大がかりな対策が必要と思われるが、市として猟友会などと協力して解決に繋がられないのか。

### 2 ふるさと滑川応援寄附金（ふるさと納税）について

- ・ 昨年度のふるさと滑川応援寄附金（ふるさと納税）の総額1億3,652万1,332円（8,104件）について問う。
  - ア 人気の返礼品は、どのようなものがあるのか。
  - イ 今後、寄附金額の増額を見込んでいるのか。また、そのための対応策や新たな返礼品等は考えているのか。
  - ウ 昨年度の活用希望事業はどのようなものがあり、その事業ごとの件数及び金額を問う。
  - エ 活用希望事業ごとの事業内容とそれに対する予算額及び事業ごとの寄附金額に対する利用率と残額について問う。
  - オ 全国の方々からいただいた貴重な寄附金であるからこそ、寄附者の願う活用希望事業に利用すべきであり、既存の継続事業に利用するのではなく新たな事業や他市町村よりも先行した事業を見出し、それに利用していくべきだと考えるがいかがか。

### 3 学校給食費について

- (1) 平成 26 年度に 1 食あたり 7～9 円値上げして以降令和 3 年度までの 8 年間は価格を維持してきたが、令和 4 年度、令和 5 年度と 2 年連続 1 食あたり 19～25 円値上げし、令和 3 年度と比べて本年 4 月開始時は、39～46 円の値上げとなっている。2 年前と比べると 1 児童生徒あたり年間で 8,000～9,000 円程の負担増である。ここ 2 年は、値上げを行った年度の値上げ相当分を市が負担して実質の家庭負担は次年度からとなっていることから以下を問う。
- ア これまでに値上げを行ったことで保護者からの質問や意見はなかったのか。
- イ 今定例会の補正予算にて給食費補助 735 万 8,000 円とあるが、本年度も値上げを行いその値上げ分の補助なのか。
- ウ 今後は、これ以上の値上げを行わず不足分を市で補うなどの検討はできないのか。
- (2) 全国各地及び近隣他市町においても給食の無償化が実施されているが、本市の見解を問う。

### 4 学校教育について

- (1) 市長提案理由説明にて述べられた、「学校教育においては、文章や情報を正確に読み解き、コミュニケーションを生かす力、科学的で論理的な思考力や判断力、困難を乗り越えるための豊かな想像力や探究力を子どもたちが身につけることができるよう、児童生徒の学びを保障し、学力向上に向けて、授業改善に取り組んでいるところである」の内容について問う。
- ア 学びの保障とは具体的にどのようなことか。
- イ 多くの力を身につけるために授業の改善に取り組んでいるところとあるが、具体的な授業内容はどのようなものか。
- (2) Society 5.0 の時代に向けた教育・人材育成のために教科の枠にとらわれない総合的な学習であり自発的に問題を見つけ、学習する主体性と対話性が重要視されたアクティブラーニング（能動的学習）である「STEAM 教育」を取り入れてはどうか。

## 5 公民連携課について

- ・ 今年度新たに作られた公民連携課について問う。
  - ア どのようなことを行う課なのか。
  - イ 本年度の具体的な事業内容を問う。また、SDGs 未来都市に選定されたことによる関連事業はあるのか。
  - ウ 砺波市、南砺市は、公民連携事業を進めるために昨年、自治体が抱える社会課題解決に向け、それにマッチした企業を紹介し両者の「橋渡し役」となる企業と協定を結んでいる。本市においてもその企業と話を進めているようだが、進捗を問う。
  - エ その企業との今後の事業展開として何か具体案はあるのか。



## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 ふるさと龍宮まつりの今後の展望について

- (1) 今年のふるさと龍宮まつりの街流しについて、参加者の規模はどのようになっているのか。昨年までの実績と、今年度以降の取組について伺う。
- (2) 海上花火大会の開催日の14日は多くの見物客が見込まれる。去年は駐車場の不足、飲食の提供が早々に完売、滑川駅の混雑、幹線道路の渋滞など多くの苦情が出たが、今年の改善点はあるのか。
- (3) 海上花火大会も含めて、昨年度は市制70周年事業での予算措置であった。原材料費の高騰などの問題もあり、一昨年予算よりも今年の予算は多く付けられているが、予算不足の懸念はないのか。
- (4) 海上花火大会の協賛状況についての現状と今後の予定はどうなるのか伺う。
- (5) 昨年、海上花火大会の質問で、協賛者一覧の紙媒体のプログラムが電子化され、ホームページ等の閲覧に変わったのを受け、復活できないか要望をしたが、今年も紙媒体のプログラムの配布が予定されていない。経緯を伺う。

### 2 小中学校における熱中症対策について

- (1) 今年も昨年以上に異常気象が懸念される。児童・生徒の熱中症対策は万全なのか。対応を伺う。
- (2) 猛暑日が多くなる時期に屋外等での授業や行事の見直しは考えていないのか。
- (3) 小学校の夏休みにおけるプール開放は行われるのか予定を伺う。

### 3 観光振興について

- (1) 外国人観光客の誘致に対する取組について具体的な内容を伺う。
- (2) ほたるいかミュージアムの来館者数の現状についてどのように考えているのか。来館者数の伸び悩みについての検証と営業努力を伺う。
- (3) 今定例会に提案されている第5次滑川市総合計画基本構想・前期基本計画の中で、観光の振興ではレンタルサイクルの導入について追加されている。検討するとあるが、現実性はあるのか見解を伺う。

### 4 軽自動車税の納税証明書の取扱いについて

- (1) 令和5年1月から、車検時に軽自動車協会が軽自動車税の納付状況を電子的に確認できるシステム（JNK S）が導入され、継続検査時に納税証明書の提示が原則不要となったが、本市の運用の仕方について伺う。
- (2) 口座振替の場合、決済日が5月31日となり、6月1日から数日間はJNK Sに反映されるまでのタイムラグが生じている。現状はどうか。
- (3) 口座振替の納税証明書の有効期限を2週間延長することで事務手続きが円滑になると考えるが、見解を伺う。
- (4) 当該年度の新規での届出をされた軽自動車は納税の義務が発生しないため、中古車等の場合、納税決済日が※印が付き窓口で納税証明書が発行される。これもJNK Sに反映されるまでのタイムラグはどのくらいあるのか、現状を伺う。
- (5) 本市では、障がい者等で、減免申請されている車両は現在JNK Sに反映されていない。改善できないか。

## 古沢 利之 議員（一般質問）

### 1 富山地方鉄道の「運営形態」問題 について

- (1) 地元紙の報道によれば富山地方鉄道の鉄道路線「再構築」の議論が始まったようだ。報道による情報しか入らないが、今年度中に方向性を、とされている。認識、見解を問う。
- (2) 昨年の城端線、氷見線の時も報道しか情報が入らなかった。今回はそれ以上に身近な課題だが、状況は自治体で異なる。交渉事ではあるが情報開示が必要ではないか。

### 2 「非核」について

- (1) 来年は「戦後」80年、「被爆」80年。本市は昭和63年（1988年）「非核平和都市宣言」を行い、平成28年（2016年）、日本非核宣言自治体協議会にも参加している。市長の「非核」への思いを問う。
- (2) これまで周年に当たって市として「非核」記念行事を行っている。来年度の計画はあるか。

### 3 補聴器助成制度の拡充について

- (1) 昨年度から実施の軽中度難聴者への助成制度の実績と申請状況を確認する。
- (2) 助成単価と所得制限の見直しを検討すべきではないか。





## 高川 正樹 議員（一般質問）

### 1 市役所の各課の配置等について

- (1) 4月の組織機構の変更に伴い、福祉課や農林課の配置場所が変更となった。来庁される方々に、不都合はないか。
- (2) 課が増えたことや職員の増加により、庁舎内が全体的に手狭となっている感じがするが、事務等に支障はないのか。
- (3) 会議室が不足していると感じているが、どのような対応をとっているのか。

### 2 豪雨対策について

- (1) 昨年、富山県でも線状降水帯が発生した。ゲリラ豪雨も増えている。梅雨時を前に豪雨対策はしっかりとされているか。
- (2) 毎年、防災パトロールが行われているが、危険箇所の把握と、その対策はできているか。

### 3 SDGs 未来都市について

- ・ SDGs 未来都市の選定において、市長提案理由説明でも、「国連における持続可能な開発目標の達成に向けて、積極的な取組を行う地方公共団体」との記載もある。予算が必要なものに対しては、今定例会での補正予算として計上されているが、予算をかけずにすぐにできるような施策もあるのではないか。

### 4 スポーツ振興について

- (1) 東京オリンピックでは、富山県出身の中山楓奈選手が銅メダルを獲得するなど、スケートボードの人気、競技人口の向上に大きな影響を与えたものと考えている。令和3年9月、12月の市議会定例会においてもスケートボードのできる場所の設置について質問が行われており、検討するとの回答であったが、その後どのように検討されたか伺う。

- (2) 小中高生がスケートボードのできる場所を求めて、結果的にやってはいけない場所や近隣住民の迷惑となる場所で行ってしまっている。大きな施設とまでは言わないが、子どもたちがスケートボードを行える場所や設備を設置できないか。

## 水橋 真治 議員（一般質問）

### 1 「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く」まちづくりについて

- (1) 本市のまちづくりの基本理念・将来ビジョン及び将来ビジョンを実現する政策について
  - ・ 「市民起点、市民共創」という理念を、滑川市民や滑川市ゆかりの人たちに、将来ビジョンを実現する政策を通して理解し、考え、行動してもらうことが大切だと思われるが、特に重視される政策について伺う。
- (2) 公民連携によるまちづくりについて
  - ・ 公民連携の手法を用いて、空き家が多く所在する旧町部エリア（晒屋、橋場、瀬羽町、大町等）の活用に向けて準備を始められているが、その計画の策定と実際のまちづくりについての予定を伺う。
- (3) 公民連携による公共施設の利活用について
  - ・ 解体が決定した深層水体験施設「タラソピア」及び東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の跡地については周辺エリアを含めて公民連携による利活用を検討しているところであるが、今後の予定を伺う。

### 2 災害に強いまちづくりについて

- (1) 「自助」・「共助」の自主防災組織の構築について
  - ・ 大規模災害が発生した時に、被害を最小限に止めるために、「自助」・「共助」の連携による取組が重要となる。今後自主防災組織の力を高めるためにどのような支援をする予定か。
- (2) ペットの避難について
  - ・ 市の「防災情報・避難所運営BOOK」にはペットと一緒に避難できることや守るべきことが記載されているが、実際にペットと一緒に避難することは可能であるのか。

- (3) 災害ボランティアセンター業務のDX活用について
- ・ 災害が発生した場合に市社会福祉協議会が、ボランティアの皆さんをコーディネートし被災者を支援することが一般化している。その際に多様な情報の発信やマッチングを推進するためにアプリを効果的に活用してはどうか。

### 3 学校教育の充実について

- (1) 計画に基づいて様々な災害を想定した避難訓練や熱中症対策等を実施し、児童・生徒が安全に過ごすことができる学習環境は整っているのか。
- (2) 令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、その課題に対してどのような対策が取られているのか。
- (3) GIGAスクール構想によって教育のデジタル化が進められてきているが、アナログ教育に回帰している国もある。デジタル教育の成果と課題を振り返り、今後どのように取り組んでいく予定か。
- (4) 就学支援体制の充実の施策において、不登校児童・生徒数が、令和5年度は年間83人となっている。様々な状況があると思われるが、どのように支援していく予定か。

## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 姉妹都市交流の充実について

- (1) 地元物産品の交流について、具体的にどのように取り組んでいるのか問う。令和4年12月議会では、「まず行政主導でこれらの課題について協議した上で、観光協会などと連携しながらどのような体制で民間へ拡大していけばよいか検討していきたい」との答弁であった。その後の進展はどうか。
- (2) 姉妹都市の北海道豊頃町からも、昨年9月に訪問した際、滑川の食材も是非直売させてほしい、との意向を聞いている。市当局にも伝わっていると思うが、これにどのように応えようとしているのか伺う。
- (3) 先月視察訪問した茨城県境町長は、すべてが町民のためと地元物産品のPRに余念がなく、大変感心した。先日のNHKの番組に取り上げられたこともあり、改めて、ホタルイカをはじめとする地元物産品のPRに強力に取り組むべきと思うがどうか。
- (4) それぞれの地元物産品の販売については、イベント時の販売だけでなく、年間を通じた販売が求められるが、どのような体制が考えられるか。

### 2 ほたるいかミュージアムのVRとARについて

- (1) VRは1台しかないのでも同時に体験することがなく、大人数で同時に体験できると共感も大きくなると思うことから設備の改修等を検討されたいがどうか。立って見れない人のために座って一斉に体験することも含め改修できないか。
- (2) 迫力ある、ほたるいか海上観光の様子をVR映像とすることはできないか。
- (3) 昼間運航している観光遊覧船キラリンで、夜間のほたるいか海上観光の様子をVRで体験するのは、とても楽しい企画ではないかと思う。設備の導入に多額の費用を要すると思うが、実現性はないものか伺う。

- (4) 今定例会でARの提案もされているが、そもそもVRとARとの違いはどのようなことか。また、ARはどのように疑似体験をするのか。
- (5) 当局からの説明によると、ARもほたるいかミュージアムに設置するとあったが、VRの導入は県内では先駆者であり、VRを拡大してARの機能を盛り込んでいくことはできないか。1台入れたから安心ではなく、日々進化するこの時代に一步先行くために、プロジェクトチームをつくり先駆者らしい取組をと考えるがどうか。

### 3 こども誰でも通園制度（仮称）について

- ・ こども誰でも通園制度（仮称）の令和8年度からの本格実施を見据え、モデル事業を試行的に実施することは検討できないか伺う。

### 4 堀江運動公園について

- (1) 全国植樹祭とやま2017で行われた500本の植樹された苗木は現在何本ぐらい育っているのか。また、ほかの会場と比較してどのようなものであるのか。
- (2) 滑川市独自で植えた実のなる木はどれくらい育っているのか。
- (3) 堀江運動公園にバスケットボールの半面コートが設置されている。フェンスがないためボールがどこへでも跳ねたり、飛び出したりする。フェンスの設置とネットの取り替えを含め早急の整備をすべきではないか。

## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 SDGs 未来都市の選定について

- (1) 滑川市が具体的にどう変わるのか。
- (2) 中心市街地の再生とあるが、どこをどう再生するのか。
- (3) 空き家の解消を行うとあるが、どう取り組むのか。
- (4) AR（拡張現実）を活用してホタルイカ漁を体験できる設備の導入をするとのことであるが、どこでいつ頃から体験できるのか。

### 2 観光遊覧船キラリンの安全運航について

- (1) 安全対策はマニュアル化されているのか。
- (2) もし事故が発生した場合、どう対応するのかの訓練はしているのか。

### 3 用水路の安全対策について

- (1) 通学道路や日常的に住民が通行する道路に接している用水の安全対策は考えているのか。
- (2) 農業用水の改修が行われている地域があるが、住民の安全対策も考えてあるのか。
- (3) 地域住民の意見は聞いているのか。

#### 4 高齢者・交通弱者・観光客の移動手段の向上について

- (1) 滑川市街中周遊バスの運行は考えられないか。  
滑川駅－市民交流プラザ－厚生連滑川病院－ほたるいかミュージアム－橋場－メリカー市役所－市民交流プラザ－滑川駅など
- (2) 自動運転バスの導入を考えられないか。

#### 5 ふるさと納税について

- (1) 寄附された方への返礼品は、滑川市の特産品としているのか。
- (2) 今年度の実績は、現在どれくらいか。また、昨年度はどうであったか。
- (3) 寄付金は、どう活用されているのか。